

「河合町人口ビジョン（素案）」及び「河合町街再生総合戦略（素案）」に対するパブリックコメントの実施結果

下記の要領で、パブリックコメントを実施したところ、町民の方々から貴重なご意見・ご提言をいただきました。ご協力ありがとうございました。

1. 募集期間

平成28年1月15日（金）から平成28年1月29日（金）まで

2. 募集方法

郵便、ファクシミリ、電子メール、直接持参

3. 資料公開場所

役場ホームページ、役場政策調整課、役場出張所、町立図書館

4. 募集結果

提出者（団体）数 計 15（個人：14名、団体：1団体）

5. 提出意見件数

25件

【内 訳】

項 目	件 数
河合町人口ビジョン	5
河合町街再生総合戦略	7
その他	13
合 計	25

6. 意見の概要及び町の考え方

【項目：河合町人口ビジョン】

番号	意見の概要	町の考え方
1	全国的な人口減少傾向、そして河合町の人口減少、少子高齢化の状況下で将来展望した場合、河合町単独ではなく近隣町との統合も検討する必要があるのではないか。	奈良県では、合併が進まない状況であり、奈良県と市町村が連携・協働して行政課題に取り組んでいます。これは、「奈良モデル」と呼ばれ各方面から高い評価を受けており、本町でも主眼に置いています。
2	P6 世帯数は増えているのに人口減。単独世帯増が要因とは思いますが、分析も必要ではないか。	核家族化の進展、高齢世帯化が主な原因と分析しています。また、これに伴う空き家の増加対策が必要と考えています。

3	P15 最近が高齢者も医療や買い物等の不便さから王寺などへ転出する例もあり、定住促進では高齢者も考慮しておく必要がある。	総合戦略では、主なターゲットを子育て層と高齢のシニア層にしています。その中で暮らす価値（総合的な住みやすさ）の向上を目指しています。
4	P20 住む場所を決めるきっかけについてのアンケートは重要だと思う。	これまでのアンケートでは住むための場を決めるきっかけの要因はいくつかあり、今後さらに分析を進めていきます。
5	P22 高齢者世帯の単独世帯について、大字別でわかれば出してほしい。特に、介護・買い物等移動手段にかかわる地域的な特徴として。	特に西大和ニュータウンの高齢単身世帯は増加傾向にあり、それに伴う空き家対策が急務と考えています。地域別の高齢者単身世帯の公表は、必要に応じて検討します。

【項目：河合町街再生総合戦略】

番号	意見の概要	町の考え方
1	馬見丘陵公園を中心としたまちづくりと活性化について 馬見丘陵公園を利用した散歩で毎日運動し、町民の健康増進を行う。成果は介護保険料の改定で、町財政健全化や地域再生を計る。この目的で「仮称；馬見歩こう会」を結成する。	本町は健康年齢の高い地域です。町民の皆様が自主的に健康保持増進、生きがいを目的とした活動が行われることは歓迎すべきことです。 また、「河合オリジナル」の財産である馬見丘陵公園を活用することは有意義で、価値ある提案と考えます。
2	総合戦略（夢ビジョン）の5つの目標に近づくには、あらゆる媒体を通じて情報公開し、各種団体のネットワーク化を構築することと協働のシステムをつくることが重要。	ご指摘のとおりです。各種団体のネットワーク化のサポートをしつつ、さらに研究を進めます。
3	重点施策の中に高齢者の移動手段、図書館の総合的な見直しや総合型地域スポーツクラブの充実が含まれていないことに疑問を	総合型地域スポーツクラブの充実については既に取り組んでいるところです。また地域公共交通については、計画作成の組

	<p>感じる。住民主体の取り組みをお願いしたい。</p>	<p>織を設け検討しているところです。</p> <p>総合戦略で特に重点施策については、移住定住促進のための「河合オリジナル」施策を掲げています。</p>
4	<p>子育て親子の集いの場「絵本図書館」について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・豆山の郷の空きスペースでの絵本図書館実施に伴う、巡回ワゴンのダイヤ追加。 ・0～5歳対象の絵本と、多世代と交流できる写真集等を重点とした「絵本ひろば図書館」検討。 ・絵本ひろば用蔵書は常設図書室と重複することで随時稼働にする。 ・子育ての場へのアウトリーチサービス（図書の出張）で子育て支援。 ・町の行事やイベントとのコラボ 	<p>絵本図書館については、単に絵本を提供するだけでなく、子育て世代や子育てを経験した世代の交流の場を設け、子育てに対する不安解消や意欲向上などを指すものです。</p> <p>気軽に集まれる絵本図書館とするためにはどうしたらいいのかを検討していきます。また、子育ての場への出張も検討します。</p>
5	<p>基本目標 活気について①</p> <p>河合町の周辺地域から人を呼び込むポテンシャルはあると思う。「人口ビジョン」P20 アンケートでの、1位安心安全、2位街並みなども周辺に近いものがあるが、3位医療費無料化は周辺に比べて遅れており、子育て世代の移住、定住のためにも短期的課題として実現すべき。</p>	<p>河合町は、「総合的な住みやすさ」を持つ地域で、これを前面に出すことで移住定住を促進することができると考えています。</p> <p>移住定住策のポイントは、「河合オリジナル」の創出と提供、そしてこれに対する理解だと考えています。</p> <p>医療費支援は主に出生率を向上させるためのもので助成対象を拡充したいと考えています。また、ただ自治体間で、いたずらに「医療費支援競争」をするのは避けるべきだとも考えています。</p>
6	<p>基本目標 活気について②</p> <p>パナホームとの連携の効果はどうか。少し位置づけが強すぎる感がある。町財産である町営住宅の改善も必要ではないか。</p>	<p>自治体が民間企業と連携して研究することは、これから益々重要になってくると考えます。なお、自治体にとってはその成果を住民にどう還元するかがポイントと考えています。</p>

7	基本目標 活気について③ 高齢者の移動確保は、住みやすさからも、短期課題として着手するべきではないか。	地域公共交通、福祉有償運送施策の中で検討しています。
---	--	----------------------------

【項目：その他】

番号	意見の概要	町の考え方
1	小・中学生と地域の高齢者との関わりの場を増やし、子ども達に社会貢献への意識向上をはかる。	健康なお年寄りが多い河合町の特徴を生かした提案であると考えます。
2	空き家をシェアハウス等で貸し出し、自治会活動にも積極的に参加してもらうことで、若い世代の意見・アドバイスを町の活性化に繋げる。	空き家の利活用では、提案型・募集型の利活用も予定しています。 若者世代の意見聴取方法は以前から検討しているところです。30歳同窓会の開催支援もその一つです。
3	広報誌「かわい」の紙面をデジタル化し、希望者のみの配布にする。その他の情報も配信。浮いた予算を図書館の充実に充てる。	広報紙のアナログ媒体での配布は、地域の絆づくりに寄与するものと認識しています。 広報紙以外での情報発信方法は今後も検討を続けます。
4	安心安全な町のイメージを積極的にPRする。	河合町の「総合的な住みやすさ」を今後も積極的に発信していきます。
5	留学生と児童の交流の場をつくり、語学力アップの実績をつくることで、子育て世代の転入増になるかも。それと同時に留学生にも、河合町の良さを多方面で発信してもらう仕掛けが必要。	子どもの語学力アップの手法として「ほんまもんの英語教育」を重点施策として掲げています。 留学生をキーワードとした提案はカリキュラム作りの中で参考とさせていただきます。
6	介護される人も介護する人も安心して暮らせる安全な町にするための一つとして、三小の空教室に需要が増えるデイサービスの教室を造ることで、児童と高齢者が身近になり、災害時の介護拠点ともなり得る。	児童生徒の社会貢献意識の向上のためにも、どのような方法があるかを検討していきます。

7	<p>行政や議会が全住民の心をいかにつかんで躍動させようとしているか、3者間の交流と協力システムとその成果については何もみあたらない。住み続けよう、他の自治体にもこれを伝えようとする意欲の醸成も期待して、全住民に「アンケート」などのアプローチを繰り返しつつ進むべき。</p>	<p>行政システムの提案として承りました。</p>
8	<p>多くの方の参加を求め、集ったテーマ毎に賛同者を募り、更に行動により結果を求めていく内容ごとの専従チームの発足を提案する。ここに役場の協力等を得ることで一層大きな成果が期待できる。共同作業により進捗状況も互いにチェックできる。</p>	<p>夢ビジョンシステムの提案を実現する手法として承りました。</p> <p>なお、行政テーマについてご意見を伺う場合は、必要に応じて今後も設けていきます。</p>
9	<p>人口減少を抑制する施策、若者世代・子育て世代の転入促進策を打ち出してほしい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・医療費助成制度の拡充 ・保育所、学童保育の充実 ・学校統廃合、特色ある教育制度 	<p>河合町は、生活に必要なものがコンパクトに集まった、「暮らす価値の高い」、住みやすい町であると考えています。</p> <p>そこで、現時点では移住定住策促進のポイントは、「河合オリジナル」の創出と提供そして「総合的な住みやすさ」への理解だと捉え、これに主眼を置いた施策の検討をしているところです。</p> <p>若者世代・子育て世代に焦点をあてた施策も検討を進めます。</p>
10	<p>自治会等で釣書交換会や大人が企画する婚活イベントで出会いの場を提供しては。</p>	<p>若者の出会いを誘導するために、若者が企画する婚活イベントが行われることを期待しています。</p>
11	<p>子ども（家庭支援）に対しては手厚すぎるくらいのサービス（予算を回す）を提供すべき。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保育料無料に近づける ・病院の治療費無料 など 	<p>移住定住促進策のポイントは、「河合オリジナル」の創出と提供そして町の「総合的な住みやすさの理解」だと考えています。</p> <p>これに主眼を置いて施策の検討をしているところです。</p>

12	<p>就労の場を町内に求めることは難しく、町外で働くことは仕方ない。</p> <p>人口減少、高齢化率を抑え、活気あるまちづくりには、その担い手である生産年齢層が定住することは不可欠で、生産年齢層の転出抑制、Uターン（転入含む）促進策を講ずるべき。また、定住促進策を考える際、高齢の親との「同居ありき」ではなく、町内空き家を活用した別居もありとする。</p>	<p>総合戦略では、子育て層とシニア層にターゲットを絞った施策を検討しています。その中で、両親との近居も推進していきます。</p> <p>また、URが空き部屋対策として、町内在住者の近居を促進する制度を始めましたので、連携していきます。＝近居割WIDE</p>
13	<p>町内の青少年に音楽の真の楽しみ方を伝授して町民の音楽力の水準を上げる。このことを町の特長の一つとしてPRすることで“音楽教育の河合町”というイメージを多方面に浸透させ移住誘引に繋げる。</p>	<p>ご提案に町としても可能な範囲内で協力したいと考えています。</p>

7. 本町の総合戦略の特徴

この度の総合戦略作成に対しては、いろんな方々からいろんなご提案をいただきありがとうございました。

総合戦略作成にあたり特に注意した点が4つあります。まず、夢ビジョンと同じく「簡素でわかりやすい」ものとする事です。そのため、イラストなどを用いて直ぐに施策を理解していただけるようにしました。

二つ目は、「河合町にしかできない」「河合町だからできる」ことを念頭に「河合オリジナル」に拘りました。他自治体でもできる施策では移住定住を促進することはできません。

三つ目は、ターゲットを絞り込んだことです。20代と30代が流出しその後の世代は横ばいになっている河合町の特徴をもとに、主に転出した方々、これから転出しようとする“転出予備軍”を念頭に、引越しを考える機会が多い子育て層とシニア層に焦点を合わせました。

四つ目は、「戦略とは施策を絞り込むこと」を念頭に、施策を絞り込んだことです。単に多くの施策を集めた“総花的”なものでは効果を確実に検証することができません。総合戦略は検証を踏まえて追記修正していきます。

他の自治体の総合戦略は、インターネット等で閲覧できますので、当町との違いを理解していただけるのではないかと思います。